目次 / パーツリスト

目次

目次 / パーツリスト・・・・・・・・・・・・・・・・1
本製品の機能 / 特長・・・・・・・・・・・・・・・・2
ご使用になる前に（必ずお読みください）・・・3～4
各部名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
初期設定の流れについて・・・・・・・・・・・・・6
初期設定のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・7
初期設定内容の変更について・・・・・・・・・・・8
基本操作方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
車高設定モード・・・・・・・・・・・・・10～16
車種別注意事項・・・・・・・・・・・・・・17～18
車両側ハイトスイッチとの併用について・・・・18
TEMS設定モード・・・・・・・・・・・・・・・・19
バルブモニターモード・・・・・・・・・・・・・20
ハイトモニターモード・・・・・・・・・・・・・21
スピードメーターモード・・・・・・・・・22～24
車種選択表示・・・・・・・・・・・・・・・・・25
故障かな？と思ったら・・・・・・・・・・・・・26
アフターサービス・メーカー保証について・・裏表紙

パーツリスト（取り付け作業前にご確認ください）

ASC680 本体　　1 個
本体取付ステー　　1 個
取付用両面テープ　　1 枚
取扱説明書（本書）　　1 冊
保証書 / ユーザー保証登録カード　1 枚

※本製品の取り扱いには、別売の車種別専用ハーネスが必要です。

本製品の取り扱いの流れについて

①本書に記載されている注意事項（「ご使用になる前に」P.3 ～ P.4）を必ず全てお読みください。また、車種別の注意事項（「車種別注意事項」P.17 ～ P.18）及び各項目内の注意事項も必ずお読みください。

②本製品を車両に取り付けます。※ 取り付けには別売の車種別専用ハーネスが必要です。取付説明書（取り付け時の注意）も必ずお読みください。

③**ご使用になる前に必ず初期設定をおこなってください。**
初期設定は 2 項目あります。詳しくは P.6を参照してください。

④各機能について本書をよくお読みになり、ご理解の上ご使用ください。

本製品の機能 / 特長

機能

●車高設定機能
ハリアーを除くエアサス車は最大 16 段階+ハイパー LOW、ハリアー及びアクティブサス車は最大 8 段階+ハイパー LOW の設定が可能です。

●ハイトメモリー機能
5 つの車高設定値をあらかじめメモリー、ノーマルを含めて 6 つの車高設定値をスイッチ 1 つで簡単に切り替えることができます。

●TEMS 設定機能
トヨタ2WD（UCF31セルシオ/UZS171･186マジェスタ / ハリアーを除く）の TEMSを最も減衰力の高いハード状態に固定できます。

●ハイトモニター機能
車高センサーから送られてくる車高データをバーグラフで表示、車高の高さを車内で確認できます（表示は絶対的なものではありません。あくまで目安としてお考えください）。標準表示・拡大表示の 2 種類選択できます。

●スピードメーター機能
1km/h 単位で最高 350km/h まで表示可能なデジタルスピードメーターを装備。標準表示・拡大表示の 2 種類選択できます。

●バルブモニター機能
各輪のエアバルブ及びコンプレッサーを監視し、車高制御動作をリアルタイムに確認することができます。（アクティブサス車を除く）

特長

● 1 つの本体で全てのエアサス / アクティブサス車 ※ に対応
地道な実車テストから得られたエアサス車 / アクティブサス車の細かな制御データ全てをマイコン内蔵メモリーに蓄積、車種ごとに異なる制御方法を選定し、完璧な車高制御をおこないます。

※P.25に記載の車種のみ

●左右バランス調整も可能（フロントのみ）
前輪左右の車高を独立で設定できますので、左右バランスを調整することが可能です。

●マイコン制御ならではの各種安全機能を搭載
車高の下がりすぎ、上がりすぎ時に起こるLOWロック・HIGHロック（車両側車高制御停止を完全回避。急激な車高設定変更にも追従するALL機能を搭載。高速走行時に自動的に車高が下がる純正機能をカットし、高速走行時の下がりすぎを防止するASC機能を搭載※。車高設定後、速やかに車高変化が始まるクイックレスポンス機能を搭載。

※UCF31セルシオ、UZS186･187マジェスタは車高が下がる前に車高を上げる制御おこないます。また、「NORMAL SELECT」選択時は純正機能が働きます。

ご使用になる前に(必ずお読みください)

注意事項の定義

ご使用の前に、この「ご使用になる前に」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの。
警告	守らないと法律に違反する恐れがあるもの。
注意	守らないと車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの。
重要	本製品を使用する上で知っていただきたいもの。

危険

- 車高を変化させた状態での走行は大変危険ですので、必ずノーマル車高に戻してから走行してください。
- 走行する際は、車高設定を「NORMAL SELECT」または、車高設定値をすべて「0」にしてあるメモリーを選択してください。保安基準以下の車高（特にハイパーLOW）設定後に走行する場合、「NORMAL SELECT」またはすべての車高設定値「0」の車高まで上がりきったことを確認してから走行してください。
- 車高を変化させた状態での走行は絶対にしないでください。車高を変化させた状態での走行は、アライメント変化などから、タイヤの異常磨耗やトラクション不足、ハンドリング異常などを引き起こし、また、乗り心地悪化の原因となります。
- 運転者が運転中に、本製品の操作をしないでください。事故や誤操作の原因となる場合があります。

警告

- 車高を下げた状態で公道を走行すると、違法となる場合があります。
- 本製品を使用して発生した違法行為・安全義務違反による罰金・減点などに関しての責任は一切負いません。

⚠ 注意

●本製品を使用中、またはイグニッションスイッチOFF後3分間は本体および専用ハーネスを外さないでください。外すと本製品および車両のエアサス / アクティブサスコンピューター故障の原因となります。

●本製品は車高センサーを故意に調整して車高を変化させたり、サスペンションシステムの改造·加工等をおこなっている車両には適合しません 。

●車高を変化させた状態では絶対に走行しないでください。車高を変化させた状態で走行すると、サスペンションに負担がかかりサスペンション破損の原因となります 。

●特に車高を下げた状態で段差、急な坂道、わだちなどを走行しないでください。ボディ(スポイラー等)と地面・輪止め等の接触による車両の破損、損傷または事故の恐れがあります。

●本製品はノーマル車両をベースに設計されています。純正または純正と同サイズのタイヤ・ホイール以外のインチアップホイール、ワイドタイヤ装着車、またはスペーサーによるワイドトレッド化された車両には、本製品を絶対に使用しないでください。タイヤと車体(フェンダー・サスペンション等)の接触による車両の破損、損傷または事故の恐れがあります。

⚠ 重要

●本製品は車高を変化させた状態での走行を目的として開発されたものではありません。

●本製品を使用したことによるエア（アクティブ）サスペンションシステムに関連するすべて（サスペンション本体・コンプレッサー・車高センサー・サスペンションCPU等)の故障・損傷・破損および車体(ボディ・エアロパーツ・タイヤ・ホイール・マフラー等)の故障・損傷・破損において当社では一切の責任を負いません。

●「 保安基準モード 」での車高設定範囲であっても、 車両個々の状態・エアロパーツや社外マフラー ・インチアップホイールの装備状況などによっては保安基準内の最低地上高を確保できない場合があります 。

●車両側に異常がある場合、本製品が正常に作動しない場合があります。

●本製品は車種別専用ハーネスが設定されている車種専用です 。車種別専用ハーネスが設定されていない車種には取り付けできません。また、車種別専用ハーネスが設定されていない車種への取り付けに関するサポートは一切おこなっていません。

●日産アクティブサス車の場合、サスペンションの特性上、車高を下げた状態でイグニッションスイッチをOFFにすると車高がノーマルに戻ります。

●本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損等の責任は一切負いません。

●本製品に貼付されている封印シールをはがさないでください。はがすと保証期間に関わらず、保証対象外となります。

各部名称

モードスイッチ(✱)
各モードの切り替えと、各モードの設定変更値を決定するときに押します。

セレクトスイッチ(■)
各モードの設定値を変更するときに押します。

表示部

ASC680 本体

UPスイッチ(▲)
- ●各モードの設定値が点滅しているときに押すと、設定値を変更できます。
- ●車高設定モードで、車高メモリーを切り替えます。
- ●ハイトモニター・スピードメーターモードで、拡大表示に切り替えます。

DOWNスイッチ(▼)
- ●各モードの設定値が点滅しているときに押すと、設定値を変更できます。
- ●車高設定モードで、車高メモリーを切り替えます。
- ●ハイトモニター・スピードメーターモードで、標準表示に切り替えます。

スイッチクリック音について

各スイッチを押すと、次のようなクリック音が鳴ります。

- ●表示を切り替えるとき……「ピッ」
- ●各モードの設定値を変更するとき……「ピピッ」
- ●各モードの設定変更値を決定したとき……「ピーッ」
- ●車高メモリーを「NORMAL SELECT」にしたとき……「ピピピッ」
- ●操作無効なスイッチを押したとき……クリック音なし

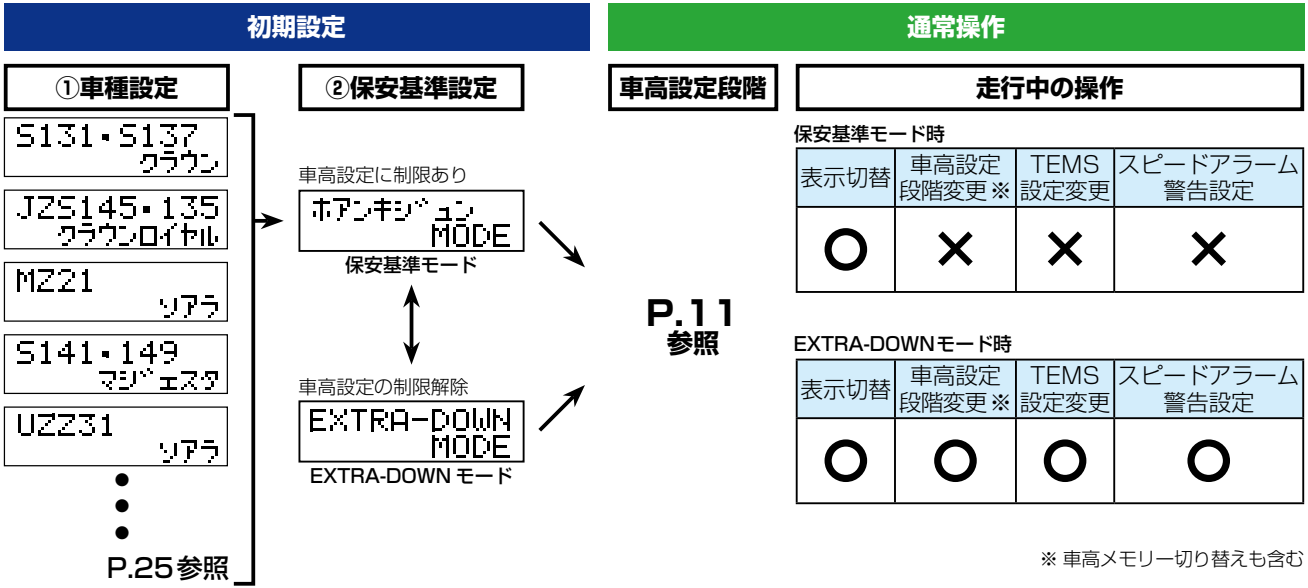
表示部のバックライトについて

液晶表示部は次の場合、バックライトの色が変わります。

- ●通常時
  →ブルー
- ●車高設定値の変更中、1 箇所でも「6」以下の設定値がある場合
  → UPスイッチ / DOWNスイッチを押すごとに一瞬レッド
- ● 1 ヶ所でも「6」以下の設定値がある車高メモリーを選択したとき
  →一瞬レッド
- ●スピードアラームまたはスピード警告設定速度を超えたとき
  →ブルー / レッドを交互に点滅

初期設定の流れについて

初めに初期設定をおこないます（初期設定のしかたについては P.7 参照）。



※ 車高メモリー切り替えも含む

各種設定の初期値

設定名称	初期値
車高メモリー設定（5種類）	すべて車高設定値「0」
TEMS 設定	OFF
スピードアラーム設定	OFF
スピード警告設定	OFF

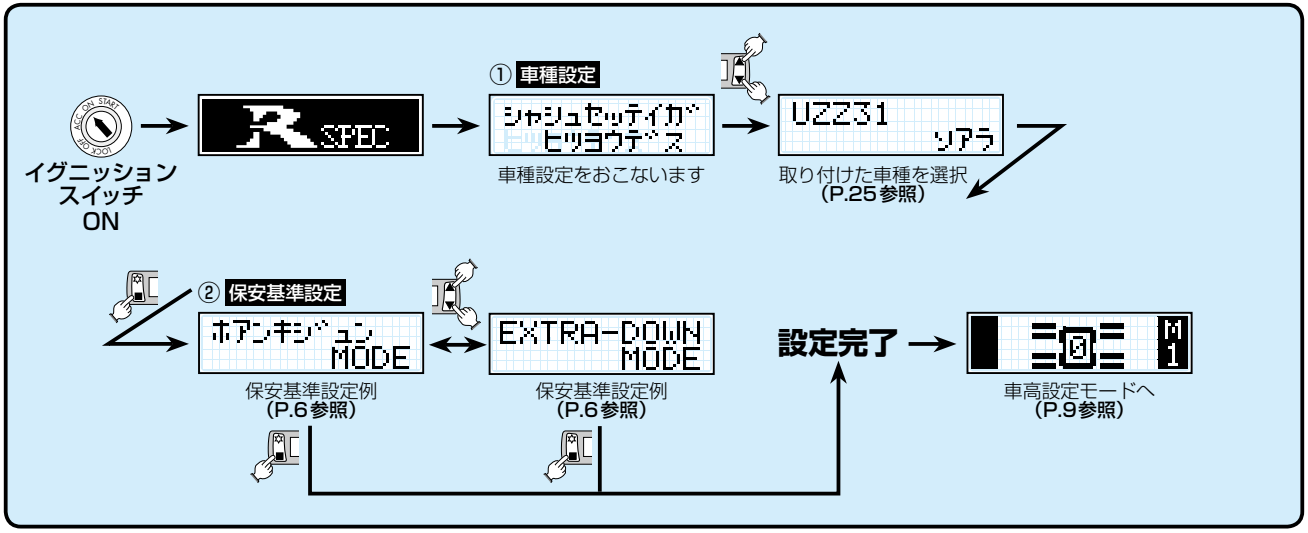
設定名称	初期値
速度補正設定	なし
車種設定	「シャシュセッテイガヒツヨウデス」
保安基準設定	保安基準モード

初期設定のしかた

初めてご使用になる前に必ず初期設定(車種設定および保安基準設定)をおこないます。

⚠ 重要 一度設定すると、再度初期設定を変更しない限り設定が本体に記憶されます。
(初期設定内容の変更については P.8 参照)

初めてご使用になる場合



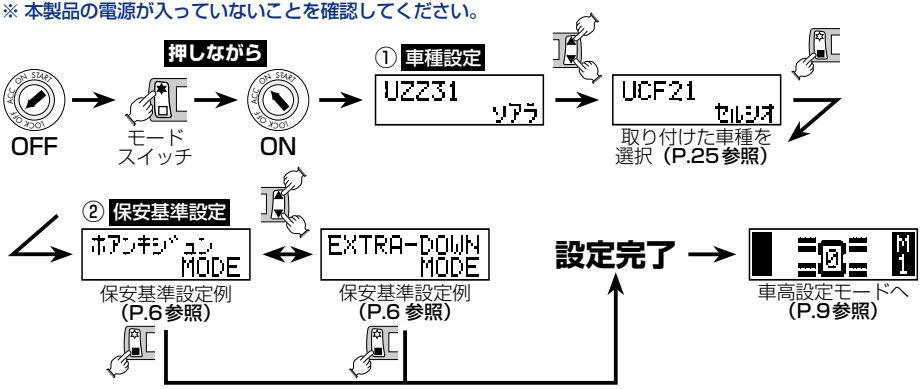
⚠ バックライトが保安基準モード表示時はブルー、EXTRA-DOWNモード表示時はレッドに点灯します。

初期設定内容の変更について

車種を変更する場合、保安基準設定を変更する場合は、初期設定をやり直してください。

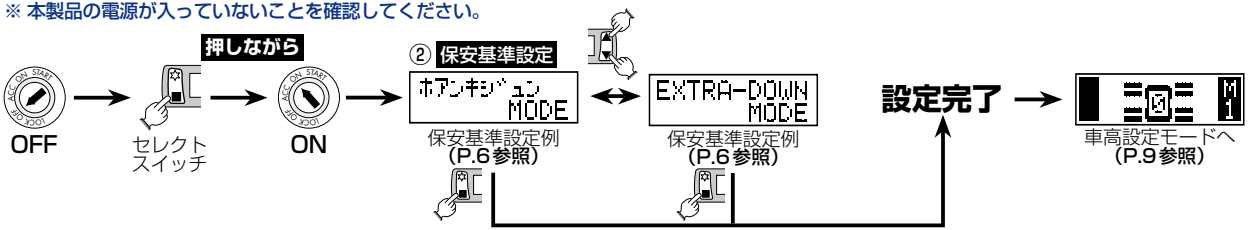
車種設定・保安基準設定

※ 本製品の電源が入っていないことを確認してください。



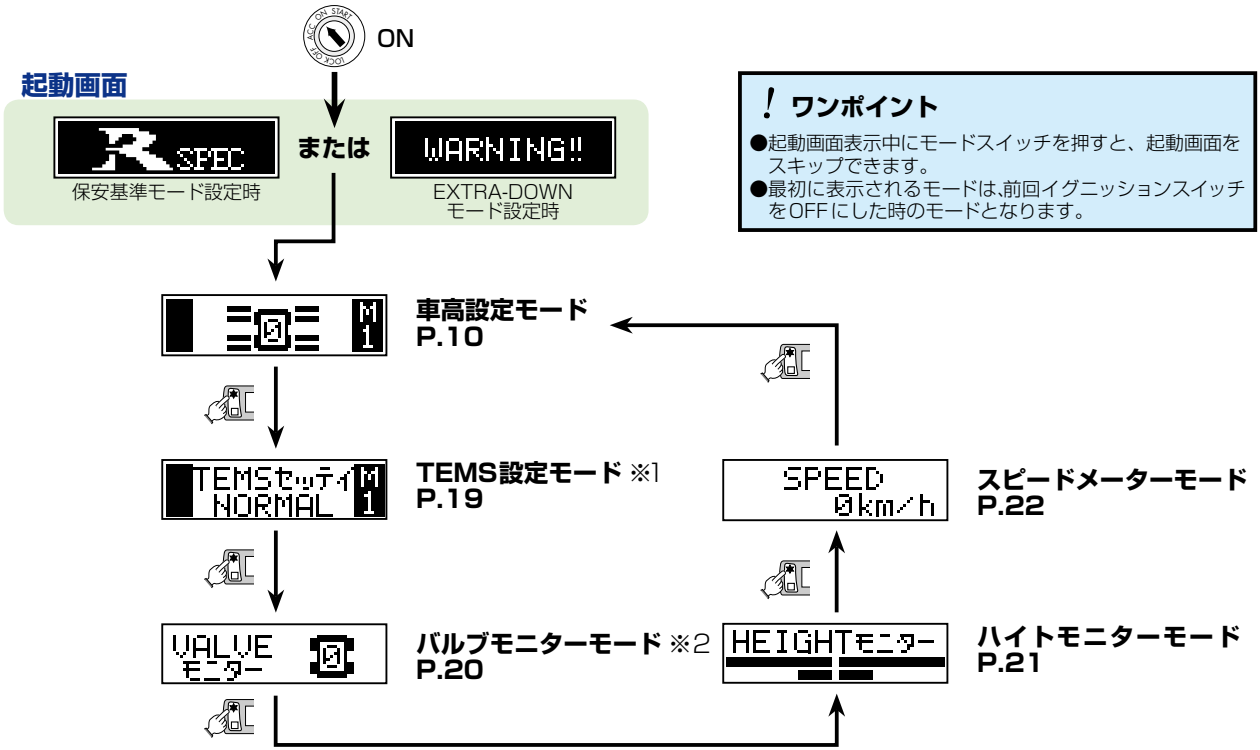
保安基準設定のみ

※ 本製品の電源が入っていないことを確認してください。



⚠ 重要 初期設定を変更すると、「車高メモリー」、「TEMS 設定」、「スピードアラーム設定」、「スピード警告設定」、「速度補正設定」の内容は初期値に戻ります。

基本操作方法



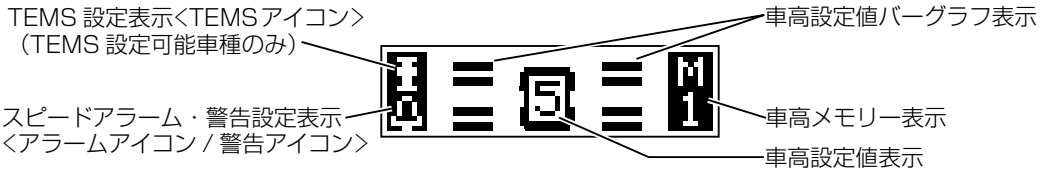
！ ワンポイント

- 起動画面表示中にモードスイッチを押すと、起動画面をスキップできます。
- 最初に表示されるモードは､前回イグニッションスイッチをOFFにした時のモードとなります。

※1 このモードが使用可能な車種については、P.25 をご覧ください。
※2 アクティブサス車は除く。

車高設定モード [表示説明]

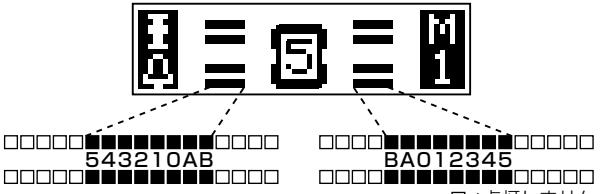
表示について



バーグラフ表示について

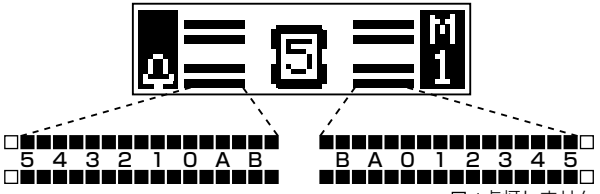
保安基準モード時

●エアサス車(ハリアーを除く)



□ :点灯しません

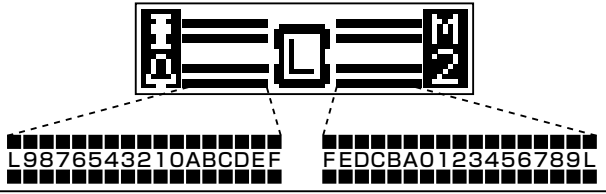
●ハリアー・アクティブサス車



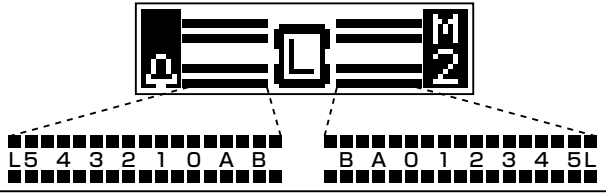
□ :点灯しません

EXTRA-DOWN モード時

●エアサス車（ハリアーを除く）



●ハリアー・アクティブサス車

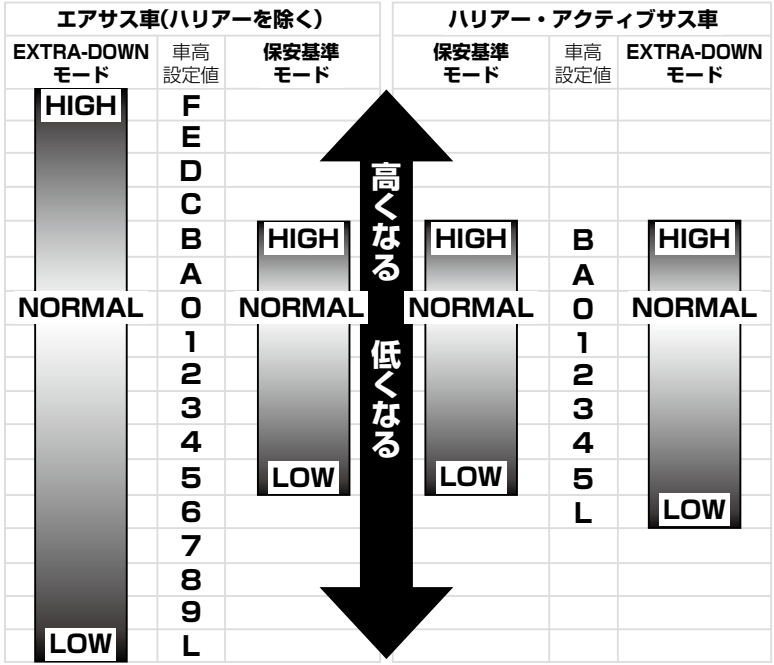


車高設定モード（つづき）[車高設定値 / 車高メモリー説明]

車高と車高設定値との関係

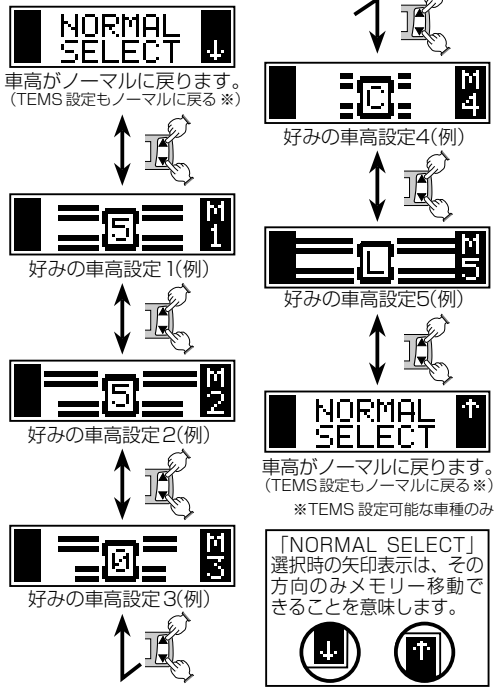
車高と車高設定値の関係は下図のようになっています。

※ 保安基準設定変更については P.8 をご覧ください。



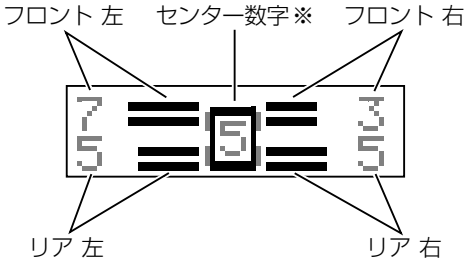
車高メモリーについて

車高メモリーを選択することにより、その車高メモリーに設定されている車高設定値に応じて車高が変化します。



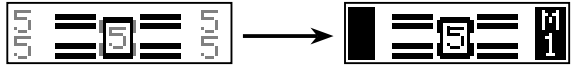
車高設定モード（つづき）［設定中の表示説明］

下図は車高設定中の表示です。

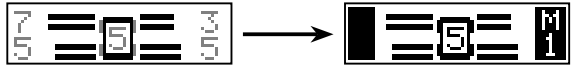


※ センター数字説明

●４輪共同じ車高設定値の場合、４輪共通の車高設定値を表します。

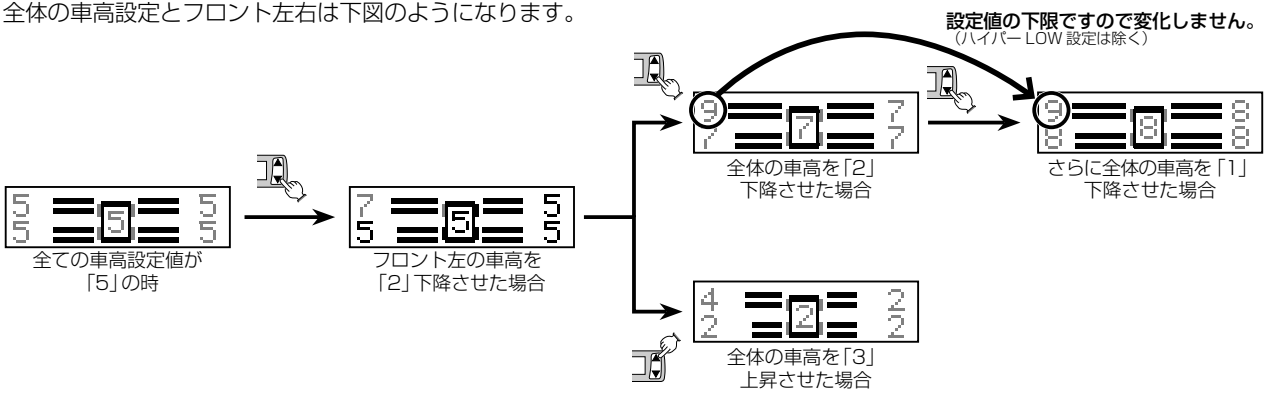


●フロントとリアの車高設定値が異なる場合は、リアの車高設定値を表します。



基本的な設定値の動き

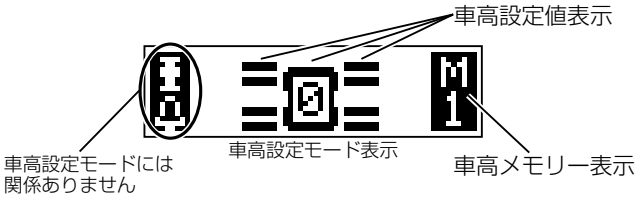
全体の車高設定とフロント左右は下図のようになります。



設定手順は次ページを参照してください。

凡例　■：点灯　■：点滅

車高設定モード（つづき）[車高設定方法]

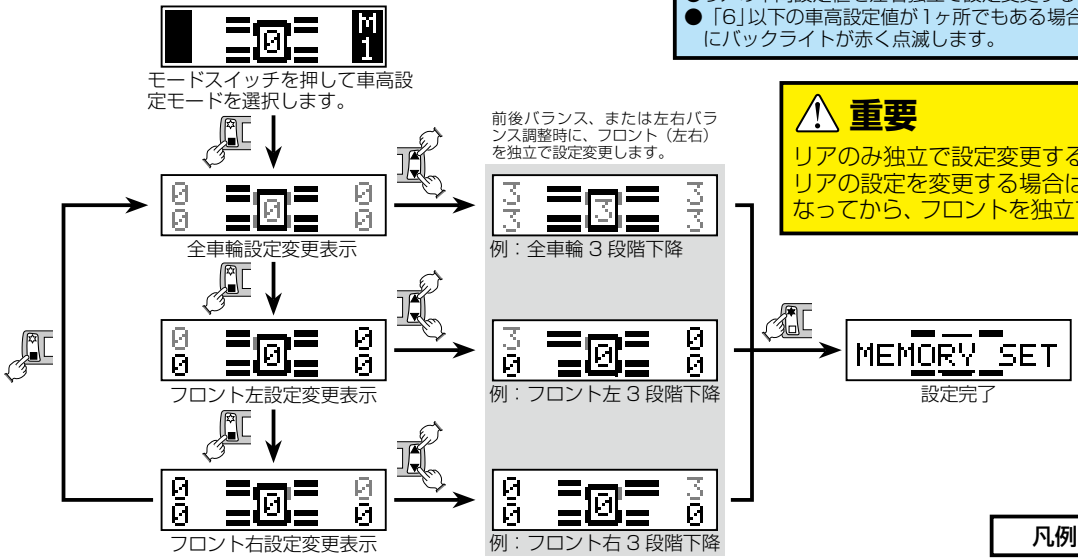


！ワンポイント

- 車高設定値を変更するときは、一度に大きく変化させずに３段階ほど変化させ、車高変化が落ち着いてから再度設定変更、という手順をおこなうと水平に下がりやすくなります。車高設定値を一度に大きく変化させると、傾いたり車両が車高制御を中止する場合があります。
- 設定変更表示のまま１分間何も操作しなかった場合は自動的に設定完了となります。
- 設定変更中でも車高は変化を始めます。
- リアの車高設定値を左右独立で設定変更することはできません。
- 「6」以下の車高設定値が1ヶ所でもある場合、設定値を変更するたびにバックライトが赤く点滅します。

⚠ 重要

リアのみ独立で設定変更することはできません。
リアの設定を変更する場合は、全車輪設定をおこなってから、フロントを独立で設定してください。



凡例　■：点灯　■：点滅

車高を前後独立で設定する

例：メモリー３にフロント「5」、リア「3」を設定する場合

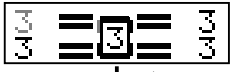
1. 車高設定モードを選択

2. 車高メモリー３を選択

3. 全車輪設定変更表示

4. 全車輪同時に「3」に設定

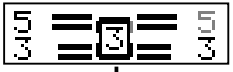
5. フロント左設定変更表示



6. フロント左を「5」に設定

7. フロント右設定変更表示

8. フロント右を「5」に設定



9. 設定完了

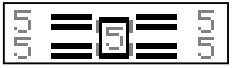
車高設定モード

フロント車高の左右バランスを調整する

例：メモリー４の時に車高が左に傾いている。フロント左を「3」("2" 上げる) にしてみる

1. 車高設定モードを選択

2. 全車輪設定変更表示



3. フロント左設定変更表示

4. フロント左を「3」に設定

5. 設定完了

車高設定モード

⚠重要

- 左右で1～2cm程度の誤差が生じる場合があります。また1～3段階程度の設定変更では車高が変化しない場合がありますが、エア(アクティブ)サスペンションの特性上で故障ではありません。
- リアの左右バランス調整はできません。
- フロント左右を独立で設定する場合、設定差を５以内にしてください（限界例：フロント左「1」・フロント右「6」）。左右差を極端に大きくすると、車両が車高異常と判断して車高制御を中止する場合があります。（車高制御中止時の対処法は P.26）

凡例　■：点灯　■：点滅

車高設定モード（つづき）［ハイパーLOW設定方法］

ハイパー LOW 設定のしかた

ハイパーLOW設定をおこなうには、保安基準設定でEXTRA-DOWNモードを選択する必要があります。

例：メモリー 1 にハイパー LOW を設定する場合

1. 車高設定モードを選択

2. 車高メモリー 1 を選択

3. 全車輪設定変更表示画面

4. 全車輪同時に「9」※ に設定

※ハリアー及びアクティブサス車は「5」となります。

5. 車高制御が終了したことを確認する

6. DOWNスイッチを3秒以上押し続けると「L」に変わり、ハイパーLOW動作をおこなう。

7. 設定完了

ハイパーLOW動作

●ハリアーを除くトヨタエアサス車
①一定時間フロント右の車高を下げる。
②一定時間フロント左の車高を下げる。
③一定時間リア（両輪）の車高を下げる。
④上記①～③の動作を計２回くり返す。
動作は約４分30秒で終了します。

●ハリアー / ランドクルーザー100 / 日産車
車両の状況により、いずれかの車輪から徐々に車高を下げ、約１分で動作を終了します。

！ワンポイント

●フロントのみハイパー LOW に設定する場合、フロント左右どちらかを「9」※ に設定、そのまま DOWN スイッチを３秒以上押し続けてください。フロントのみ「L」にすることができます。ただし、必ず左右共に「L」となります。片側のみハイパー LOW 設定にすることはできません。

●ハイパー LOW 状態からノーマル車高に戻す際、車種によって５分以上かかる場合があります。

●ハイパー LOW 動作中はイグニッションスイッチを OFF（エンジン停止）にしないでください。車高が傾いたままになる場合があります。

●ハイパーLOW動作は、バルブモニターモード(P.20)で確認できます。

⚠ 重要 ハイパー LOW設定のまま走行した場合、10km/h以上になると自動的にハイパーLOWが解除されます。

凡例 ■：点灯 ■：点滅

車高設定モード（つづき）［ハイパーLOW解除方法］

ハイパー LOW 解除のしかた

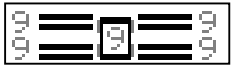
方法 1　メモリーされているハイパー LOW 設定を解除する

全車輪すべて「L」の場合

1. 車高設定モードを選択

2. ハイパー LOW を設定している車高メモリーを選択

3. 全車輪設定変更表示



フロントのみ「L」の場合

1. 車高設定モードを選択

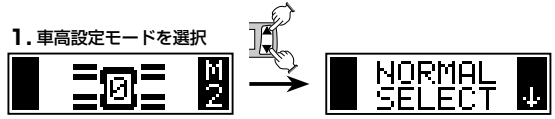
2. ハイパー LOW を設定している車高メモリーを選択

3. 全車輪設定変更表示

※リアの車高設定値は変化しません。
（「8」になりません）

方法 2　ハイパーLOW設定していない車高メモリーまたは「NORMAL SELECT」を選択する

1. 車高設定モードを選択



⚠重要

UZS131・MS137クラウン
JZS145・135クラウンロイヤル
MZ21ソアラ
UCF11セルシオ

については、**全車輪同時に車高設定値を「4」以上**にするか、**「NORMAL SELECT」を選択**してハイパー LOW を解除してください。
以上の操作をおこなわないと、表示上ハイパー LOW が解除されても、車高が上昇しない場合があります。

●ハイパー LOW 設定している車高メモリー選択時、車両側ハイトスイッチを操作（車高 HIGH）した場合、またはしてある場合、ハイパー LOW 設定は自動的に解除 ※ されます。また、車両側ハイトスイッチを HIGH 設定にしてある場合、ハイパー LOW 設定はできません。

※ 他の車高メモリーで設定されているハイパー LOW 設定は解除されません。なお、ランドクルーザー 100・シグナス及びハリアーについてはこの制御は働きません。

凡例　■：点灯　■：点滅

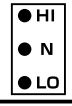
車種別注意事項

●ランドクルーザー100・シグナス / ハリアー / UCF31セルシオ / UZS186・187マジェスタでご使用になる場合

車高設定時や車高メモリー切り替え時、高速走行時(セルシオマイナー後)に**車両側ハイトインジケーターが自動的に点滅等の表示動作を数秒間おこないます**が、本製品の車高制御によるもので**故障や異常ではありません。**

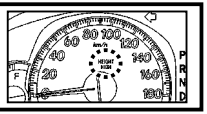
車両側ハイトインジケーター(メーターパネル内)

ランドクルーザー 100
ハリアー



UCF31 セルシオ　マルチインフォメーション ディスプレイ表示

UZS186・187
マジェスタ



●ランドクルーザー100・シグナス / ハリアーでご使用になる場合

車両側ハイトスイッチは使用しないでください。

「NORMAL SELECT」以外の車高メモリー(M1～M5)選択時は、車高設定値に関係なく車両側ハイトスイッチ操作(HI 側・LOW 側共)をおこなうと、以下の警告画面を表示すると共に車両側モード表示ランプが自動的に「N」に戻ります。
本製品による車高設定と車両側ハイトスイッチとの併用はできません。

車両側
ハイトスイッチ

警告画面 (バックライト:レッド)

●ランドクルーザー100・シグナスでご使用になる場合

車高設定をおこなう際は、必ず全てのドアを閉じてください。ドアが開いている状態では車高が変化しません。

●日産車でご使用になる場合

車高設定をおこなう際は、必ずパーキングブレーキを解除してください。パーキングブレーキを解除しないとリアの車高が変化しない場合があります。
Y33 シーマの下がり幅は最大で2cmです。

● UZS186・187マジェスタ スピードメーター機能の動作確認

車高設定をおこなう前に、必ずASC680のスピードメーターモードにて正常に速度表示をおこなうことをご確認ください。
また、当社製TV-KITなどのテレビ制御装置やナビ制御装置が装着されている場合、これらの機能をONにしても正常に速度表示をおこなうことをご確認ください。
走行しても常に0km/hを表示する場合、テレビモニター裏に接続するハーネスの接続位置が間違っている可能性があります。
詳しくは「エアサスコントローラー 取付 / 取扱補足説明書マジェスタ UZS186」をご確認ください。

⚠ 注意　正常に速度表示をおこなわない状態で使用した場合、車高制御上の不具合が発生し重大事故に繋がります。

●ハリアー「乗降モード」について

純正機能の「乗降モード」は使用しないでください。

「NORMAL SELECT」以外の車高メモリー(M1～M5)選択時は、純正機能の「乗降モード」をONにしないでください。「乗降モード」をONにすると予期せぬ不具合が発生する場合があります。
本製品による車高設定と、「乗降モード」との併用はできません。

ハリアー「乗降モード」スイッチ
併用禁止！

● UCF31セルシオマイナーチェンジ後 およびUZS186・187マジェスタでご使用になる場合

UCF31 セルシオマイナー後 /UZS186·187マジェスタは、純正の機能により高速走行（速度 100km/h以上）時に約20～30mm車高が下がります。本製品で車高を下げた状態でもこの純正機能は働きますので、本製品で設定した車高よりも更に下がる可能性があります。
よって走行する際は必ず車高メモリーを「NORMAL SELECT」に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください（車高メモリーについては11ページを参照してください）。
「NORMAL SELECT」以外の車高メモリー（M1 ～ M5）を選択している場合、純正機能による車高の下がりすぎを極力抑える為、本製品により速度 90km/h 以上で車高を約 20 ～ 30mm 上昇させます ※。また、この制御は速度 70km/h 以下になるまで持続し、その後設定した車高に戻ります。（この制御時に車両側ハイトインジケーターが数秒間点滅しますが、異常ではありません）
ただし、この制御によって100%の安全が確保されるわけではありません。予期せぬ車高変化や車高設定値によっては本製品で設定した車高よりも下がる場合もあります。よって走行する際は必ず車高メモリーを「NORMAL SELECT」に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください。
※ノーマル車高よりも下げている場合にこの制御が作動しますが、この制御によって車高がノーマルよりも上昇することはありません。また、ノーマル車高以上に車高を上げた設定にしている場合、この制御は作動しません。

車両側ハイトスイッチとの併用について

● 「NORMAL SELECT」を選択している場合

車両側ハイトスイッチは純正の制御をおこないます。

● 「NORMAL SELECT」以外の車高メモリーを選択している場合（ハイパー LOW 設定以外）

・車両側ハイトスイッチを操作（車高 HIGH）した場合、本製品で設定している車高に車両側ハイトスイッチによる車高変化量が加算されます。ただし、車両側ハイトスイッチの走行時制御（純正機能）はそのまま働きます。

•[ランドクルーザー 100・シグナス / ハリアーのみ]
車両側ハイトスイッチは使用しないでください。

車高設定値に関係なく車両側ハイトスイッチ操作（HI 側·LOW 側共）をおこなうと、右の警告画面を表示するとともに車両側モード表示ランプが自動的に「N」に戻ります。
本製品による車高設定と車両側ハイトスイッチとの併用はできません。

●ハイパー LOW 設定で車高を下げている場合

・車両側ハイトスイッチを操作（車高HIGH）した場合、ハイパー LOW 設定は自動的に解除され（選択しているメモリーのみ）、ハリアーを除くエアサス車は設定値が「L」→「9」、ランドクルーザー 100・シグナスを除くアクティブサス車は設定値が「L」→「5」に自動変更されます。さらに、その車高設定値に対する車高に車両側ハイトスイッチによる車高変化量が加算されます。

•[ランドクルーザー 100・シグナス / ハリアーのみ]
車両側ハイトスイッチは使用しないでください。

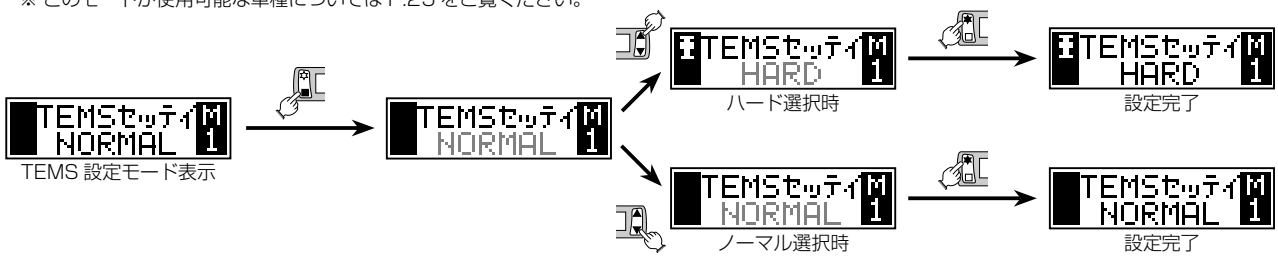
車両側ハイトスイッチ操作（HI 側・LOW 側共）をおこなうと、以下の警告画面を表示すると共に車両側モード表示ランプが自動的に「N」に戻ります。
本製品による車高設定と車両側ハイトスイッチとの併用はできません。

警告画面
（バックライト：レッド）

TEMS 設定モード（トヨタ 2WD 車の一部のみ）

トヨタ 2WD 車の一部では TEMS 設定モードがあります（UCF31セルシオ / UZS171・186マジェスタ / ハリアーには TEMS 機能はありません）。このモードはメモリーごとの設定が可能です（モード切り替えは P.9 参照）。

※ このモードが使用可能な車種については P.25 をご覧ください。



HARDに設定した場合

HARD に設定すると、画面左上に TEMS アイコンが表示されます。TEMS アイコンは同じメモリー内の車高設定モードにも表示されます。

※トヨタ車 2WD の一部（TEMS 設定適合車）以外の車種が設定されている場合は、このモードは表示しません。
※TEMS 設定適合車でも車高設定モードで「NORMAL SELECT」を選択している場合は、このモードを表示しません。

TEMS アイコン

車高設定モード表示画面

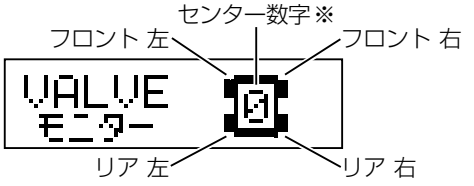
凡例　■：点灯　■：点滅

まめ知識

TEMS：Toyota Electronic Modulated Suspension（トヨタ エレクトロニック モジュレーテッド サスペンション）
コンピューター制御により、ショックアブソーバーの減衰力を走行状況に応じて自動的に切り替える純正機能のこと。
減衰力は基本的にノーマル / スポーツ / ハードの 3 段階に分かれている。車両に装備されたスイッチによりユーザーが任意にノーマル / スポーツを選択することは可能だが、ハードを選択することは不可能。
本製品の TEMS 設定はこのハードを任意に選択することが可能となる。

バルブモニターモード（アクティブサス車を除く）

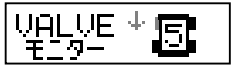
車両のエアバルブやコンプレッサーの動作をリアルタイムに表示します（モード切り替えはP.9参照）。



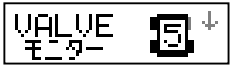
！ ワンポイント

- 車アイコン内のセンター数字は、選択されているメモリー車高のセンター数字と同じです。「NORMAL SELECT」を選択しているときは「N」と表示します。
- 車高を大きく変化させた場合にバルブモニターの「↓（↑）」表示が点滅し続けるときがありますが、車両システム上の問題で故障ではありません。設定を 1 段階以上上げて（下げて）ご使用ください。

車高 DOWN 時



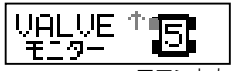
フロント左



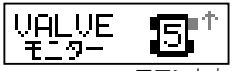
フロント右

リア

車高 UP 時



フロント左

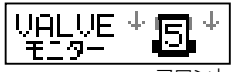


フロント右

リア

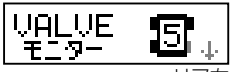
ハリアーでご使用の場合のみ、以下の動作をすることがあります。

車高 DOWN 時



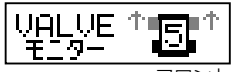
フロント

リア左



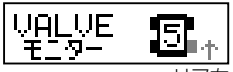
リア右

車高 UP 時



フロント

リア左



リア右

車高設定モード内でのバルブモニター表示

車高設定モード表示中は以下のようにバルブモニター表示をおこないます。

例：フロント左
（各輪共通）

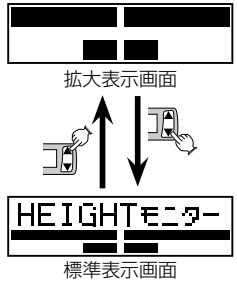
①車高 UP 時点滅 / 車高 DOWN 時消灯
②車高 DOWN 時点滅 / 車高 UP 時消灯

凡例　■：点灯　■：点滅

ハイトモニターモード

現在の車高をリアルタイムにバーグラフ表示します(モード切り替えはP.9参照)。

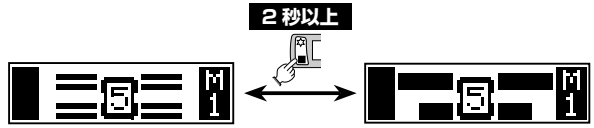
また、ハイトモニターモード表示中に UP/DOWNスイッチで表示のサイズを変更することができます。



※拡大表示のままイグニッションスイッチを OFF にした場合、次回イグニッションスイッチを ON にした時は拡大表示になります。同様に標準表示の場合は標準表示となります。
※拡大表示のままモードスイッチで表示を切り替えた場合、再度ハイトモニター表示にすると標準表示に戻ります。
※ハイトモニター表示は車高の高さに応じてリアルタイムに変化しますので、車高設定を変えなくても走行中などの車体上下動によっても変化します。

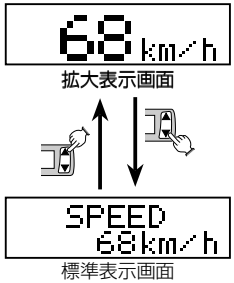
車高設定モード表示内にハイトモニターを表示させる方法

ハイトモニターのバーグラフを車高設定モード内に表示させることができます。



スピードメーターモード

現在の速度を表示します（1km/h 単位・最高 350km/h まで）。設定速度をこえると、警告表示のほか、アラームを鳴らすことができます（モード切り替えはP.9参照）。



※拡大表示のままイグニッションスイッチを OFF にした場合、次回イグニッションスイッチを ON にした時は拡大表示になります。同様に標準表示の場合は標準表示となります。
※拡大表示のままモードスイッチで表示を切り替えた場合、再度スピードメーター表示にすると標準表示に戻ります。

スピードメーターモードの機能

スピードメーターモードには、スピードアラーム機能、スピード警告機能、速度補正機能があります。

スピードアラーム機能

設定した速度に到達すると、バックライトが赤 / 青交互に点滅し、アラームが鳴ります。（設定方法 P.23）

スピード警告機能

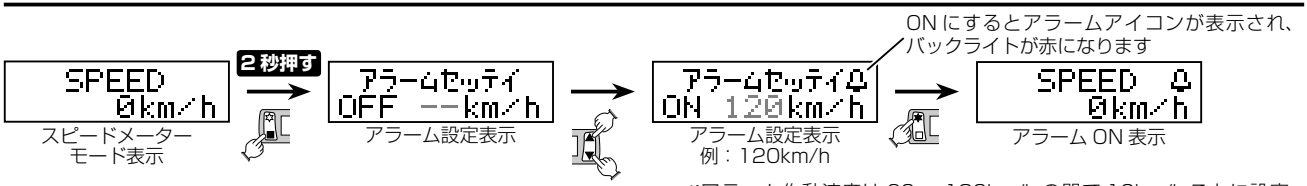
設定した速度に到達すると、バックライトが赤 / 青交互に点滅します。（設定方法 P.23）

速度補正機能

本機の速度表示と、車両側スピードメーター表示に誤差がある場合に補正することができます。（設定方法 P.24）

スピードメーターモード（つづき）

スピードアラーム設定方法



※アラーム作動速度は 60 ～ 180km/h の間で 10km/h ごとに設定できます。「— —」を選択するとアラーム OFF になります。
※アラーム設定と警告設定を両方 ON にした場合、アラーム設定が優先されます 。

車高設定モード時の表示

スピードアラーム設定の有無は、車高設定モード表示内でも確認できます。

スピード警告設定方法

※警告設定速度は 60 ～ 180km/h の間で 10km/h ごとに設定できます。「— —」を選択すると 警告 OFF になります。
※アラーム設定と警告設定を両方 ON にした場合、アラーム設定が優先されます 。また、警告アイコンは表示されず、アラームアイコンのみ表示されます。

車高設定モード時の表示

スピード警告設定の有無は、車高設定モード表示内でも確認できます。

凡例　■：点灯　■：点滅

アラーム・警告表示

設定速度をこえると、表示が切り替わると共にバックライトが赤 / 青交互に点滅し、アラームが鳴ります(アラーム設定時のみ)。

標準表示時

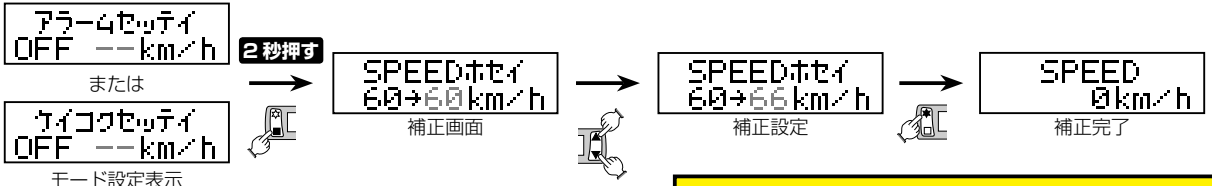
拡大表示時

設定した速度マイナス 6km/h 以下になると、アラーム・警告表示が停止し通常表示に戻ります。

速度補正設定

本機の速度表示と、車両側スピードメーター表示に誤差がある場合に補正することができます。
本機のスピードメーター表示が 60km/h 時を基準にし、−20〜+20km/h の範囲で補正できます。

本機のスピードメーター表示が 60km/h のときの車両側スピードメーター表示を確認します。
例：本機のスピードメーター表示が 60km/h の時、車両側スピードメーターが 66km/h を表示している場合



⚠ 重要
速度補正設定をおこなっても完全には合わない場合があります。

車種選択表示

S131・S137 クラウン
クラウン（UZS131/MS137）
S62.9～H3.10
TEMS設定モードあり

MZ21 ソアラ
ソアラ（MZ21）マイナー前
S61.1～S62.12
TEMS設定モードあり

S131・S137 クラウン
ソアラ（MZ21）マイナー後
S63.1～H3.5
TEMS設定モードあり

S141・149 マジェスタ
マジェスタ
（UZS141/JZS149）
H3.10～H7.8
TEMS設定モードあり

UZZ31 ソアラ
ソアラ（UZZ31）
H3.5～H9.8
TEMS設定モードあり

UZS151 マジェスタ
マジェスタ（UZS151）
H7.9～H11.9
TEMS設定モードあり

UZS143 マジェスタ4WD
マジェスタ4WD（UZS143）
H4.10～H7.8

UZS143 アリスト4WD
アリスト4WD（UZS143）
H4.10～H9.8

UZS155 マジェスタ4WD
マジェスタ4WD（UZS155）
H7.9～H11.9

UZS171 マジェスタ
マジェスタ（UZS171）
H11.10～H16.6

UZS173 マジェスタ4WD
マジェスタ4WD（UZS173）
H11.10～H16.6

UCF11 セルシオ
セルシオ（UCF11）
H1.10～H6.9
TEMS設定モードあり

UCF21 セルシオ
セルシオ（UCF21）
H6.10～H12.8
TEMS設定モードあり

UCF31 MCマエ セルシオ
セルシオ マイナーチェンジ前
（UCF31）
H12.9～H15.7

UCF31 MCゴ セルシオ
セルシオ マイナーチェンジ後
（UCF31）
H15.8～H18.9

UCF31 MCゴ セルシオ
マジェスタ（UZS186・187）
H16.7～H21.3

⚠注意 必ずこの表示を選択してください

Y32 セドリグロ
セドリック・グロリア（Y32）
H3.6～H7.5

Y31 セドグロ・シーマ
セドリック・グロリア（Y31）
S62.6～H3.6
シーマ（Y31）
S63.1～H3.8

J100・101 ランドクルーザー
ランドクルーザー100・シグナス
（UZJ100/HDJ101）
H10.2～H19.9

FGDY32 シーマ
シーマ（FGDY32）
H3.8～H8.5

FGDY33 シーマ
シーマ（FGDY33）
H8.6～H12.12

HG50 インフィニティQ45
インフィニティQ45（HG50）
H1.10～H9.9

HG50 プレジデント
プレジデント（HG50）
H2.10～H3.10
プレジデントJS（PHG50）
H4.2～H14.8

MCU31・36 ハリアー
ハリアー（MCU31/36）
H15.2～H20.12

故障かな？と思ったら

製品の調子が悪いとき、故障と判断する前に下記の内容をご確認ください。

症状	確認してください
電源が入らない。 車両側警告ランプが点滅または点灯する。	**●車種別専用ハーネスのコネクターを抜き差しして、接触を確認してください。** ●車種別専用ハーネスの品番をご確認ください。 ●車種別専用ハーネスは確実に接続されていますか？
車高設定が「5」より下がらない。 ハイパー LOW 設定ができない。	**●保安基準モードになっていませんか？ P.11「車高と車高設定値の関係」及び P.8「初期設定内容の変更について」をお読みください。** ●車両側ハイトスイッチが ON になっていませんか？ P.18 をお読みください。
イグニッションスイッチをOFFにしても本製品の電源が OFF にならない。	● UZS143 マジェスタ 4WD·アリスト4WD/UZS141 · JZS149マジェスタ /UZZ31ソアラ /UCF11セルシオの場合、イグニッションスイッチOFF後、約3分で自動的に電源が OFF となります。
車高が左右で異なる。	●左右バランスを調整しましたか？ ●水平な場所で車高を設定しましたか？ **※左右で 1～ 2cm 程度の誤差が生じる場合がありますが、エア（アクティブ）サスペンションの特性上から起こるもので故障ではありません。**
設定しても車高が変化しない。	●ハイパー LOW 設定後の場合、車高設定を「5」以上に上げてください。 ●エア（アクティブ）サスコンピューターが車高制御を中止している可能性があります。バッテリーマイナス端子を 1 分以上外してください。 ※ 1～3段階程度の設定変更の場合、エア（アクティブ）サスペンションの特性上から車高が変化しない場合があります。
走行中に車高が勝手に変化する。	● UCF31 セルシオマイナーチェンジ後、または「NORMAL SELECT」選択中は、純正の機能により、車両側エアサス（アクティブサス）コンピューターが走行状況に応じて、自動的に車高を変化させる場合があります（P.17～18参照）。
車高が勝手に変化していることがある。	●1～2cm 程度の車高変化が生じる場合がありますが、エア（アクティブ）サスペンションの特性上から起こるもので、故障ではありません。
4 輪全て同時に車高が変化しない。	●車両側車高制御上の正常動作です。
駐車中に車高が下がっている場合がある。	●エンジン作動中以外は車高制御はおこなわれません。車両側サスペンションシステムの異常が考えられます。
バルブモニターの「↓（↑）」表示が点滅し続けるときがある。	●車両側のシステム上、症状が発生する場合がありますが、故障ではありません。設定を 1 段階以上上げて（下げて）ご使用ください。
エンジンを切ると車高がノーマルになる。	●日産アクティブサス車の場合はエンジンを切ると車高がノーマルに戻ります。

アフターサービスについて

製品に関してのご相談は当社サービス課までお問い合わせください。

●製品の調子が悪いとき(P.26「故障かな？と思ったら」を参考に一度お調べください）。
●製品を破損、損傷してしまった場合
●製品の性能、機能に関してのご質問

メーカー保証について

付属の保証書に必要事項を全てご記入ください。特に販売店印及びご購入日の記入が無い場合、保証書は無効となります。
保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。

※ 保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります。
※ ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
※ 保証規定は保証書を参照してください。
※ 保証書は如何なる理由があっても再発行致しませんので、あらかじめご了承ください。

本製品に貼付されている封印シールをはがさないでください。はがすと保証期間に関わらず、保証対象外となります。

ユーザー登録の方法

製品に同梱の「ユーザー保証登録カード」に必要事項を全てご記入頂き返送いただくか、インターネット上にて登録をおこなってください。

URL:http://www.datasystem.co.jp/

本取扱説明書は保証書と共に大切に保管してください。

Data System **株式会社 データシステム**

■[本　社]〒160-0022　東京都新宿区新宿 1-18-2
■[倉敷支社]〒712-8061　岡山県倉敷市神田 1-1-11　　TEL.086-445-1617（代）
自動音声案内に従って下記の＃(シャープ)と番号を押してください。
#1 適合確認　#2 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付）#3 在庫確認・ご注文
（※ コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねますので予めご了承ください）

弊社に無断で本説明書の内容、図、写真の全部または一部の複製(コピー）・転用・転載を禁じます。

ASC680-1208-YM-SP-5000